

授業科目名	対象学科・専攻	年次	期別
児童心理学 Child Psychology	児童教育学科 初等教育学専攻	1年次	集中
科目	施行規則に定める科目区分又は事項等		
教育の基礎的理解に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員名
			福屋 いずみ
講義	2	選択	担当形態
			単独
全体目標及び概要			
<p>児童期における児童の心身の発達、発達課題について学ぶ。 発達の連続性、幼児期からの継続、青年期への移り変わりについて理解する。 児童の子どもの心の、問題、関わりの基礎について学ぶ。</p>			
一般目標及び到達目標			
<p>(1) 児童の心身の発達の課程および特徴を理解する。 1) 児童期の発達特徴と課題を説明できる 2) 代表的な発達理論を理解する 3) 幼児期・青年期との接続を理解する 4) 児童期の心の問題を理解する</p> <p>(2) 児童の学習の基本的知識を身につけ発達を踏まえた上での関わりについて学ぶ。 1) 運動・言語・認知、社会性の発達を理解する 2) 学年での発達の違い、学習の特徴を理解する 3) 児童期の仲間関係、集団の特徴を理解する</p>			

授業内容と進め方		
回数	授業内容	到達目標の番号
1	児童心理学とは何かその特徴を理解する	(1)－1
2	乳幼児期の発達を理解する	(1)－1、(1)－2
3	児童の身体的発達について理解する	(1)－1、(1)－2
4	現代の児童の生活特徴を理解する	(1)－1、(1)－3
5	児童期の運動機能の発達を理解する	(2)－1
6	代表的な発達段階と児童期の位置づけを学ぶ	(1)－2
7	言語・思考の発達について学ぶ	(2)－1
8	認知の特徴を理解する	(2)－1
9	自己・自我の発達を理解する	(1)－4、(2)－1
10	仲間関係と集団行動（遊びの発達）を学ぶ	(2)－2、(2)－3
11	学校生活と児童の発達の関連を知る	(2)－1、(1)－4
12	学年ごとの発達の違いを知る（低学年を中心に）	(2)－2
13	学年ごとの発達の違いを知る（高学年を中心に）	(2)－2
14	青年期への接続について学ぶ	(1)－3
15	児童を取り巻く環境の変化と子どもの変化について考える	(1)－1、(1)－4
成績評価 方 法	授業への取り組み・講義中の発表（関心・意欲・態度・表現力）50% 筆記試験（知識・理解・思考力・判断力）50%	
テキストおよび 参 考 文 献	小学校学習指導要領 「児童心理学」山口短期大学	
メ ッ セ ー ジ な ど	児童期の子どもの心身面の発達特徴を知るとともに、生涯における児童期の重要性を眺めていきましょう。	